

人権だより

(令和2年度12月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次2組

今年もあと少しになりました。コロナ禍で様々なことにおいて、いつもと違う年でした。そんな中だからこそ思いやりの気持ちを持つことや人権について考えることができた人も多かったのではないかと思います。

今月は世界人権デーにちなんで、子どもの人権について考えたことをまとめました。

【今月の見どころ】

- 1 世界人権デーについて
- 2 子どもの人権について
- 3 人権・同和教育ホームルーム活動の報告

1 世界人権デーについて (法務省 <http://www.moj.go.jp>)

先月の人権だよりでは12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」とすることや、本県でもその期間に人権尊重の啓発活動が行われることなどをお知らせしました。今月は「世界人権デー」、「世界人権宣言」についてまとめました。

ア 設定の背景

- ・特に第二次世界大戦中において、特定の人種の迫害、大量虐殺など、人権侵害、人権抑圧が横行したこと。
- ・第二次世界大戦後、人権問題は国際社会全体にかかわる問題であり、人権の保障が世界平和の基礎であるという考え方が主流になったこと。

イ 「世界人権宣言」の採択と意義

- ・期日：昭和23年(1948年)12月10日
- ・場所：国連第3回総会(パリ)
- ・意義：「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、基本的人権尊重の原則を定めた。それ自体が法的拘束力を持つものではないが、初めて人権の保障を国際的にうたった画期的なものとなった。

ウ 「世界人権デー」、「人権週間(日本)」の設置

- ・世界人権デー：「世界人権宣言」が採択されたのを記念して国際連合で定められた。
- ・人権週間：日本では「世界人権宣言」が採択された翌年から毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定めた。

2 子どもの人権について

右はユニセフのポスターです。「あなただったら にどんな言葉を入れますか」と問いかけています。そこで、人権委員会では委員それぞれで考え、世界中の「子どもの人権」について考えてみました。

ア 多かった回答と理由

夢 輝く未来 希望(星) 笑顔

- ・夢は全ての子供に持ってほしいから。
- ・健康に育ち、自分のやりたいことをやって個性を生かして輝いてもらいたいから。
- ・星は人間にとって遠い存在だが、希望の光でもあるから希望をもってほしいから。
- ・少しでも支援に協力することで笑顔になり、幸せに暮らせると思ったから。



イ 自分たちには当たり前でも、その願いがかないにくい地域のことを考えた回答

笑顔あふれる日常

より、ふつう (な生活)

- ・私たちが毎日普通に過ごしている日常をすべての子供たちにも同じようにあってほしいから。
- ・私たちの「ふつう」はそうでない国の子供たちからすると「贅沢」なんだろうと思う。私たちはそれをもっと幸せと思うと同時に、世界の多くの子供たちが本当に「ふつう」の生活を送ってほしいと思ったから。

さて、みなさんはどんな言葉を入れますか？健康で夢（生きがい）を持って生きることは、子どもじゃなくても誰にも必要なことだと思います。特に子どもは、健全な人生を送るために大切なことではないでしょうか。私たち、世界の子どもたちの「当たり前の願い」が実現することを願っています。

(※次の URL でポスターの写真をクリックすると、その国の子供たちの様子が出てきます。 <http://www.unicef.or.jp/kodomo/poster2020/>)

3 人権・同和教育ホームルーム活動について

11月20日（金）に2学期の人権・同和教育ホームルーム活動がありました。この日は公開授業だったので、保護者の方にも参観していただきました。

1の1は「ハンセン病問題」、1の2は「LINE上のやりとり」、1の3は「高齢者問題」から人権について考えました。



2年次は部落差別解消のために立ち上がった人々の生き方から、現代に生きる自分にとってのどのようなことができるか、またしないといけないのか考えました。



3年次は人生において大切な、また幸せなはずの結婚において「結婚差別」が生じた場合、適切な対応のしかた、正しい知識のもとで行動する大切さを学びました。



【保護者の方から】

(3年次のホームルーム活動を見られて)

親としては(子どもの結婚相手について)家柄や職業も気になります。でもまずは、相手の方とよく話をし、相手の方のことをよく知ろうとする努力が大切と、この授業をみて思いました。

【各年次のテーマ】

- 1年次：自分の周りに目を向けよう
- 2年次：解放への歩みⅡ—水平社の展開と愛媛の水平社運動—
- 3年次：解放への取組Ⅱ—結婚差別の解消に向けて—